

輸出事業計画

※申請者名：寺岡有機醸造株式会社、品目：醤油・醤油加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

アジアを中心に輸出を行っているが、近年は政治的要因で販売が不安定になっている。
2017年より輸出へ本格的に取り組み始め、ヨーロッパやアメリカの展示会等で多くのバイヤーと商談を重ねた。
その中で日本食文化は広まっていることや、「Made in Japan」のニーズも確認できた。

【課題】

フランスやドイツ、イギリス、アメリカでは有機への関心度は非常に高いが、現地生産企業との差別化が必要である。
フランスやドイツ、イギリスでは動物性原料の使用規制があり、動物性原料不使用商品の商品化等が必要である。
また食品安全に関する国際認証取得の要望が多くの企業から寄せられ、認証取得の必要性を強く感じた。

2. 輸出事業計画の取組内容

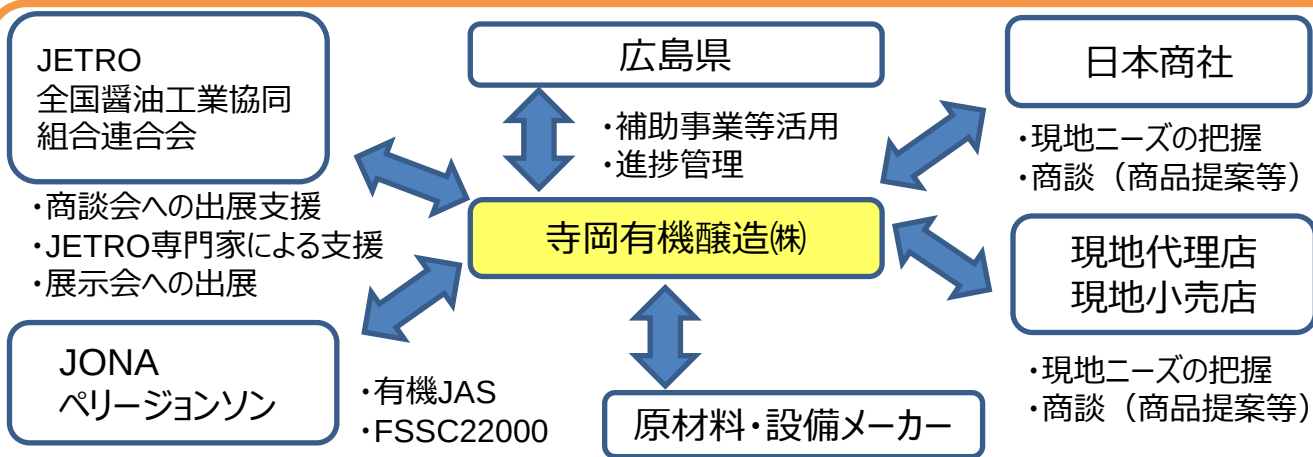
【加工】

フランスやドイツ、イギリスでの動物性原料の使用規制に対応するため、動物性原料不使用商品を商品化する。
動物性原料不使用商品の安定供給を図るため、代替原料を確保する。

【販売】

現地生産企業との差別化を図るため、木桶醸造の有機醤油や有機減塩醤油を商品化する。
フランスやドイツ、イギリスでの展示会や商談会へ参加し、販路拡大を目指す。
食品安全へのニーズに対応するため、2024年10月にFSSC22000の認証取得ができるよう進める。
JETRO・全国醤油工業協同組合連合会等と連携し、展示会の出展へ参加して販路拡大を目指す。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（2023年1～12月）	目標（2026年1～12月）
輸出額（千円）	234,000	400,000
主要輸出先国	韓国、中国、香港、台湾等	韓国、中国、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ等